

光星 主将・武岡に期待 仲井監督 接戦想定で臨む

26日対戦 両監督こう戦う

3年ぶり10回目出場の八学光星は26日の初戦で、広島県の広陵(6年ぶり24回目)と対戦する。広陵は春のセンバツ3回の優勝経験がある強豪で、今年中国大会を制しており、今大会初戦で唯一の神宮大会出場校対決となる。22日、開会式のリハーサルに先立ち、八学光星・仲井宗基監督(48)と広陵・中井哲之監督56が取材に応じた。

中井監督 秋より仕上がっている。緊張せず実力を発揮してほしい。

仲井監督 伝統と実力を併せ持つ。甲子園で戦えることに喜びを感じている。

中井監督 素晴らしい打者が多く、どこからでも得点してくる。

仲井監督 長い冬を越えて技術も体力も強くなってきたが、ここまでの練習試合の結果は良くはない。今後の調整次第。

仲井監督 予想が外れれば慌てるので(展開は)読まない。最後まで諦め



初戦での真剣勝負を誓い合う八学光星の仲井監督(左)と広陵の中井監督(右)＝22日午前、兵庫県西宮市の阪神甲子園球場

ず戦っただけ。中井監督 失点は仕方ない。先制、中押しができればいいが、難しいだろう。接戦想定で臨む。

大会。気持ちの隙を見せず、自分たちの力を出し切れれば。中井監督 選手にとって夢の舞台。伝統の広陵らしさを出して頑張りたい。(高松拓輝)